

らふ

松下記念病院

Vol.33

春号
2016



診療科
見学note 臨床検査科

特集 緩和ケア病棟 開設

● **MATSUSHITA REPORT**
急性重症患者看護専門看護師

● **news**
薬剤部 院外処方せんへの記載

● **ホストピ**
“骨粗鬆症マネージャー” 資格取得
“認定臨床微生物検査技師” 資格取得
第1回 松下記念病院 市民公開講座

臨床検査科とは…？

松下記念病院の臨床検査科は、
臨床検査室、生理検査室、細菌検査室、
輸血検査室、病理検査室
の5部門から構成されています。



部長
川端 健二
かわばた けんじ

病理診断部長
榎 泰之
えのき やすゆき



検査の目的は

- 症状の原因を調べる
- 症状の似た病気の中からどの病気に該当するかを調べる
- 診断の確認をする
- 病気の進行度合を調べる
- 投薬による副作用の度合を調べる
- 治療効果を確認する

などで、対象となるのは
生体と検体(血液、尿、便、喀痰、体液など)です。

● 臨床検査室

血液や尿に異常な細胞がないか顕微鏡で調べたり、分析装置を使って肝機能、腎機能、脂質、血糖値、感染症、腫瘍マーカーなど測定します。

● 生理検査室

心電図検査、脳波検査、超音波検査、呼吸器検査などにより心臓、肺、肝臓、脳・神経などの機能を調べます。
超音波検査においては、12名が多領域の認定超音波検査士の資格を取得し、検査を行っています。

● 細菌検査室

発熱、痰、下痢などの症状があり、細菌による感染症が疑われる場合に、便や喀痰などから原因となる菌を検出します。有効な薬剤を調べ感染拡大防止に重要な役割を担っています。

● 輸血検査室

手術・出血・重度貧血等で輸血が必要になった時、患者さまの血液型、不規則性抗体の有無など輸血前検査や血液製剤の管理を担っています。

● 病理検査室

手術や検査で採取された組織や細胞から顕微鏡標本を作製し、組織診断や細胞診断を行うことで疾患の診断や原因を究明しています。

細胞診は、日本病理学会専門医4名、日本臨床細胞学会認定細胞検査士6名で検査を担っています。



臨床検査室で よくある質問

Q「今日ご飯を食べてきたのですが、 食事の影響は検査に出ますか?」

検査によって食事による影響を受ける項目がありますので、主治医にご相談ください。

Q「採血した血液の色が黒いのはなぜですか?」

採血は静脈（酸素を運んだ後の血液）より行いますので、とれた血液は黒っぽく見えます。

Q「なぜ、何本も採血するのですか?」

検査の種類によって、必要な採血管（血液を入れる試験管）が違うからです。

Q「アルコール消毒や絆創膏で赤くかぶれるのですが…」

採血前に『アルコールはだめ!』『絆創膏はだめ!』とお申し出ください。それぞれ対応させていただきます。ちなみに採血後は、直ちに5分位しっかりと押さえておいてください。内出血などのトラブルを減らすことができます。

トピックス

生理検査室ではこんな検査もしています…

CPX

(Cardio-pulmonary Exercise Training、心肺運動負荷試験)

CPXとは呼気ガス（吸気・呼気中の酸素や二酸化炭素の量）分析を併用して行う運動負荷試験です。

マスクをつけた状態で、心電図・血圧・全身の酸素などの状態を観察しながら一定時間自転車漕いで検査します。

この検査では以下のようなことがわかります。

- ①どのくらい運動する事が可能か（運動耐容能評価）
 - ②何が原因で息切れしているのか
 - ③どの程度活動すると心機能低下や肺機能に影響が出るのか（虚血重症度の判定や治療方針の決定）
- ①②③より心臓リハビリテーションを安全にかつ有効に実施するための運動処方作成します。



LI室(検査相談室)にて疑問にお答えします。

当院で受けられた検査(血液・尿など)に限りませんが、
説明・相談・情報提供を行います。

2階 臨床検査科 受付にて
10:00～15:00(平日のみ)



私たち臨床検査科は、医師 4 名、検査技師と検査補助・事務職を含む 34 名体制で、日々精度向上に努力し、迅速かつ正確に報告を行い、24 時間体制で救急医療にも対応しています。検査室で働く私たちは直接皆さまと接する機会はありませんが、提出された検体を患者さまと向き合う気持ちで検査を実施し、結果を報告しています。

緩和ケア病棟 開設

この度、松下記念病院に守口・門真地域では初めてとなる
「緩和ケア病棟」が完成しました。

プライバシーに配慮した全室個室の病室をはじめ、
ご家族や親戚の方々との団らんのスペースなど、
充実した環境でゆったりと穏やかな時間をお過ごしいただけます。



緩和ケア病棟

緩和ケア病棟では、「がん(悪性腫瘍)」
の患者さまが入院の対象となり、積極
的な治療(手術、抗がん剤治療など)

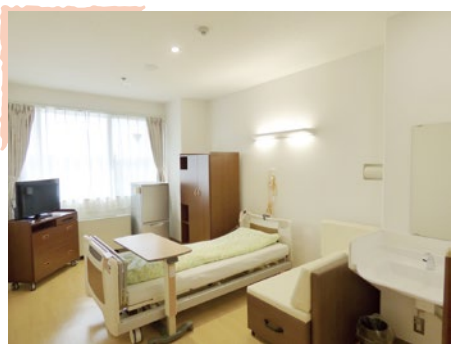
や延命処置(人工呼吸器、心臓マッサージ、輸血など)は原則として行いません。
病気の治療・治癒を目的としたものではなく、痛みなどの苦痛を和らげることを
目的としたケアを行います。

患者さま自身がお自分の病状を理解したうえで、これらに同意いただき、緩和ケア
病棟への入院をご希望されることが大切です。

緩和ケア基本方針

患者さま一人ひとりの思いを尊重した緩和ケアを提供します

- ◆患者さまやご家族の「からだ」と「こころ」の苦痛を和らげます
- ◆生活の質の維持・向上をめざし、チーム医療で支えます
- ◆ご自宅での豊かな時間を過ごしていただくため、在宅復帰に必要な連携を
図ります
- ◆地域における拠点病院として緩和ケアの充実、質の向上につとめ、地域ぐるみで
患者さまの療養生活を支えます



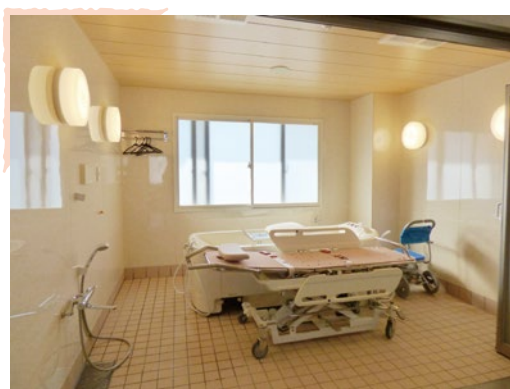
個室



特別個室



個室には、足元部分も可動式となった高機能ベッドを備え、快適な療養環境を整えています。ソファーベッドも設置しており、患者さまと同室でご家族の方もお泊りいただけます。



浴室(機械式)

機械式の浴槽を設置しており、起き上がりが困難な患者さまからの入浴へのご要望にもお応えします。



家族控室

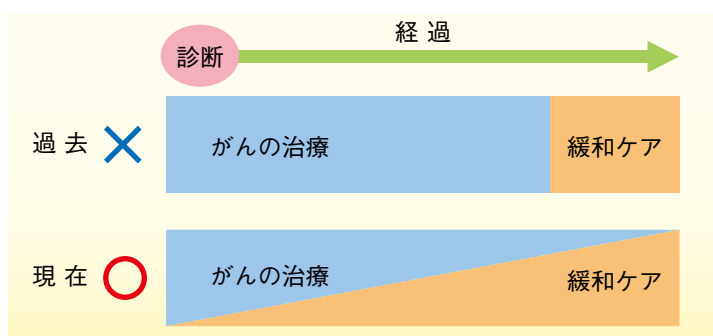
ご家族の方にお休みいただけるよう、和室の控室(2室)をご用意しました。

がんと診断された時からの「緩和ケア」

「緩和ケア＝ターミナルケア」というイメージをお持ちではないでしょうか？緩和ケアは、終末期のみを指すのではなく、より早期の段階から考慮すべきものとして考えられています。また、がんによる身体的・精神的な苦痛の除去をはじめ、できる限り最高のQOL（人生の質・生活の質）を実現するためのケアを意味します。

松下記念病院では、医師や看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーなどのさまざまな専門職からなる「緩和ケアチーム」が活動しており、早期からの緩和ケアに取り組んでいます。

今回ご紹介する緩和ケア病棟でも、住み慣れたご家庭での生活を尊重し、ご自宅への退院（在宅復帰）も念頭に置いたケアをご提供します。



(日本緩和医療学会 Smart Brief 2013)
緩和ケア プロジェクト

急性・重症患者看護 専門看護師



集中治療室
小松 看護師

専門看護師とは

「専門看護師」とは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを提供するために、特定の専門看護分野の知識・技術を大学院博士前期課程で2年間学び、日本看護協会専門看護師認定審査に合格した者を指します。

急性・重症患者看護専門看護師の役割

緊急度や重症度の高い患者さまに対して集中的な看護を提供し、患者さまやそのご家族の支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援することが特徴です。また、保健医療福祉発展への貢献、看護学向上のための研究活動に力を発揮することも役割の一つです。

平成28年1月現在、急性・重症患者看護専門看護師は、全国で210名、大阪府下で22名が登録されています。

急性・重症患者看護専門看護師のフィールド

急性・重症患者看護専門看護師はその名の通り生死を分けるような危機的な場面での活躍を求められています。よって、集中治療室(ICU)に在籍していることが多いのですが、院内の急変や一般病棟において困難な事例がある場合、いつでも駆けつけて対応できる横断的な対応も行っています。そして患者さまにとって当院での療養が、少しでもスムーズかつ安全に、またストレスなく進められる看護チームが形作られるよう活動を行っています。



「まさか自分に／家族に起こるなんて…」

これは突然の生命危機に対し集中治療室に入院された患者さまやご家族からよく聞かれる言葉です。集中治療室に入るほどの重症な患者さまやそのご家族には、人工呼吸器を装着するか否かなど、生命維持にかかわる重大な決断を短時間に迫られます。そのため、戸惑い、悩み、どうしたら良いか分からなくなるご家族も少なくありません。

生命の危機に瀕している急性期重症患者を救命、安定化して、原因となった疾患を解明して治療へと導く急性期全身管理医学のチームの一員として、少しでも多くの不安や疑問を解消できればと考えています。また、患者さまやご家族が、できるだけストレス少なく、安心した療養環境が提供できるように、集中治療チーム全員で力を合わせていきたいと考えております。

【院外処方せんへの検査値と身体情報の記載】 — 薬物療法の安全性・有効性の向上をめざして — を開始!!

近年、技術の進歩により、効果の強い薬の開発に伴い、体重や体表面積といった身体情報に基づいて、飲む量を細かく設定する薬が増えています。また、薬によっては、患者さまの腎臓や肝臓の状況、検査値に応じて飲む量が決まるものもあります。一方、検査値の推移や異常値から副作用の早期発見につながることもあります。

当院では、今春から、院外処方せんに最小限必要な臨床検査値と身体情報（身長、体重、体表面積）を記載します。薬の量が適切であるか、副作用が起こっていないかを保険薬局でも確認いただけます。

処方せん
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です)

公費負担者番号		公費負担医療の交付者番号		保険者番号		被保険者証・被保険者 手帳の記号・番号	
氏名		性別		交付年月日		所在地および名称	
生年月日		被保険者		処方せんの使用期間		保険医氏名	
区分		平成		年 月 日		都道府県 点数表 番号	

特記事項のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること
変更や持参の処方箋については、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更を申し渡さなければならない場合は、
「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

01)	ベラチンドライシロップ小児用 0.1% 1回 0.067 g (1日 0.2 g)
	後発品変更不可
	ブルスミ2Al ⁺ ラシロップ 小児用 1.5% 1回 0.1 g (1日 0.3 g)
	薬剤コメントです。
	【用法】 分3 毎食後 (1日3回) 7日分
	用法コメントです。
02)	2016/2/17開始 曜日指定: 月水金
	ファモチジンD錠 20mg「サワイ」 1回 1錠 (1日 2錠)
	【用法】 分2 朝・夕食後 (1日2回) 90日分

<患者様へ>

以下の情報について、調剤する薬局が医薬品の適正使用の判断に利用するために記載しています。提示したくない場合は、切り取り線で切り取り、処方せんのみを調剤薬局へお渡し下さい。

検査情報 「-」は3ヶ月以内に検査が未実施の項目です。

項目	WBC ($\times 10^{-3}$)	Hb	Plt ($\times 10^{-3}$)	PT-INR	AST	ALT	T-Bil	血清Cr (mg/dL)	eGFR (mL/分)	CK	CRP	K+	HbA1c
検査日													
検査値													

【身体情報】 身長 測定日 体重 測定日 体表面積

所在地

保険薬剤師 印

処方せん
(この処方せんは、どの保険薬局でも有効です)

特記事項のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること
変更や持参の処方箋については、後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更を申し渡さなければならない場合は、
「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。

01)	ベラチンドライシロップ小児用 0.1% 1回 0.067 g (1日 0.2 g)
	後発品変更不可
	ブルスミ2Al ⁺ ラシロップ 小児用 1.5% 1回 0.1 g (1日 0.3 g)
	薬剤コメントです。
	【用法】 分3 毎食後 (1日3回) 7日分
	用法コメントです。
02)	2016/2/17開始 曜日指定: 月水金
	ファモチジンD錠 20mg「サワイ」 1回 1錠 (1日 2錠)
	【用法】 分2 朝・夕食後 (1日2回) 90日分

検査情報 「-」は3ヶ月以内に検査が未実施の項目です。

項目	WBC ($\times 10^{-3}$)	Hb	Plt ($\times 10^{-3}$)	PT-INR	AST	ALT	T-Bil	血清Cr (mg/dL)	eGFR (mL/分)	CK	CRP	K+	HbA1c
検査日													
検査値													

【身体情報】 身長 測定日 体重 測定日 体表面積

“お薬手帳”で健康管理

病院や診療所、歯科医院から処方され服用している全ての薬の情報は「一冊のお薬手帳」にまとめましょう。お薬手帳を病院ごとや薬局ごとに使い分けるのではなく、一冊にして診察時に見せることで、患者さま自身も、薬の重複投与や危険な飲み合わせを未然に防ぐことができます。



こつしょうしょう “骨粗鬆症マネージャー” 資格取得 骨折の予防に向けた運動指導

骨粗鬆症は骨が弱くなり、転倒などで簡単に骨折しやすい状態になります。骨粗鬆症治療として薬物療法が必要ですが、治療継続率は全国で約20%前後と低いのが現状です。

骨粗鬆症マネージャーは地域医療機関と連携して、骨粗鬆症治療の継続率向上をめざします。当院では、骨粗鬆症患者に対し薬物療法以外に転倒予防のための運動指導を実施しています。内容は数種類のバランス機能検査を行い、結果から自宅のできる運動プログラムを指導しています。今後は、かかりつけの医院とも情報を共有して地域で転倒予防活動を行い、骨粗鬆症治療の継続率向上に繋がりたいと考えています。



リハビリテーション科
技師長代理
進藤 篤史

“認定臨床微生物検査技師” 資格取得

当検査室では、感染症の原因となる様々な微生物（主に細菌や真菌）の検査を実施しています。患部から採取された検体を培養することで病原菌を検出し、さらにどの抗菌薬に効果があるかを検査しています。



臨床検査科
大友 志伸

認定臨床微生物検査技師は、日本臨床微生物学会、日本感染症学会など7団体から受ける認定資格であり、高度な検査技術と感染症や治療、感染対策といった幅広い知識が要求されます。近年では、新たな耐性菌の出現が問題視され、技術の進歩による新しい検査法が多く開発されています。このような現状に対応するために、常に最新の情報を取り入れ、正確で精度の高い検査結果を提供し、診療や感染対策に貢献していくことが認定技師の役割と考えています。

第1回

松下記念病院 市民公開講座

松下記念病院では市民健康セミナーとして、当院の医師・スタッフが健康や医療に関する内容を上げ、皆さまに提供しております。

以前より院外での開催希望も多いため、広く近隣の住民の皆さまにお越しいただけるよう市民公開講座として企画いたしましたので、ぜひご参加ください。

『知っていますか？ がんのこと』

日 時：6月11日（土）14：00～16：30（13：30から受付開始）

講演1 がん検診の重要性 副院長 小山田裕一

講演2 どうしたらいい？ 不安な医療費 医療ソーシャルワーカー 橋井多寿代

講演3 緩和ケアってなあに？ 認定看護師 的井徳子

場 所 守口市生涯学習情報センター「ムーブ21」

守口市大日町2丁目14-10 地下鉄大日駅より徒歩5分

問合せ先 松下記念病院 医療連携センター

TEL 06-6992-5373

